

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立千寿桜小学校 校長 渡辺 円

1 学校教育目標

- 1 学ぶ喜びをもつ子ども：知識・思考とともに、学びに向かう力を重視する。
- 2 ふれあう喜びをもつ子ども：児童の主体的な活動の支援を重視する。
- 3 鍛える喜びをもつ子ども：バランスのとれた体力の向上をはかる。

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
- ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 20,367 冊（蔵書基準冊数 10,360 冊）／ 蔵書率 196.6%（前年度末 202.9%）									
	② 新規購入図書 579 冊 ／ 廃棄図書 418 冊 ／ 増減冊数 161 冊増									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.9%	0.9%	5.8%	7.6%	17.7%	4.8%	3.5%	8.0%	4.5%	45.1%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：9：00—15：45（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 48.8 冊（前年度末：43.3 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 89.6 %（前年度末：85%）									

（令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 20202 冊（蔵書基準冊数 10760 冊）／ 蔵書率 187.8%									
	② 新規購入図書 771 冊 ／ 廃棄図書 945 冊 ／ 増減冊数 174 冊減									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.1	1.1	6	7.6	16.9	5	3.7	8.0	4.7	44.9
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 47.5 冊（前年度末：48.8 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 80.9%（前年度末：89.6%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標	達成基準	
① 学校図書館を使う授業により、本を手にする機会が増える。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知る。	① 各クラス週1回、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 桜っ子推薦図書を利用して、年間一人あたり10冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%	
目標達成状況	① 達成（各クラス週1回、読書等の授業を学校図書館で行った） ② 達成（桜っ子の推薦図書を利用して、年間10冊以上の本を読んだ） ③ 達成（各クラスオリエンテーションを実施した）	
第2学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。	

今年度の成果目標		達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ① 各クラス週1回、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 桜っ子の推薦図書を利用して、年間一人あたり10冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する年割合が10%以上
目標達成状況		
<ul style="list-style-type: none"> ① 達成（週1回以上読書や探究活動の授業を学校図書館で行った） ② 達成（桜っ子の推薦図書を利用して、年間一人あたり10冊以上の本を読んだ） ③ 達成（調べる学習コンクールに90%以上の児童が参加した。） 		
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。 	
今年度の成果目標		達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 自分の興味のある本だけでなく、それに関連する本についても読書する意欲を育てる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 桜っ子推薦図書を含め、年間一人あたり12冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が10%以上
目標達成状況		
<ul style="list-style-type: none"> ①達成（週1回以上読書や探究活動の授業を学校図書館で行った） ②達成（桜っ子の推薦図書を利用して、年間一人あたり10冊以上の本を読んだ） ③達成（調べる学習コンクールに90%以上の児童が参加した。） 		
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。 	
今年度の成果目標		達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ① 各クラス月2回以上、読書や学校図書を使った探究活動の授業を学校図書館や教室で行う。 ② 桜っ子推薦図書を含め、年間一人あたり24冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が10%以上。
目標達成状況		
<ul style="list-style-type: none"> ① 達成（週1回以上読書や探究活動の授業を学校図書館で行った） ② 達成（桜っ子の推薦図書を利用して、年間一人あたり10冊以上の本を読んだ） ③ 達成（調べる学習コンクールに90%以上の児童が参加した。） 		
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。 	
今年度の成果目標		達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり24冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が10%以上

目標達成状況	
① 達成（各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う） ② 未達成（年間24冊以上の本を読んだ児童が85%） ③ 達成（調べる学習コンクールに100%の児童が参加した。）	
第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う ② 年間一人あたり24冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が10%以上
目標達成状況	
① 達成（各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う） ② 未達成（年間24冊以上の本を読んだ児童が90%） ③ 達成（調べる学習コンクールに100%の児童が参加した。）	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ④ 既存の寄贈本や新規購入図書を受け入れ、登録作業を8月中に完了させる。 ⑤ 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。	・7月末に巡回図書販売を行い全校の先生方と必要な本を選んだため、納品が9月以降になり登録作業完了が10月になってしまった。 ・廃棄図書は早期に確定した。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 学校図書館オリエンテーションの実施や読み語り等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ③ 学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。	・4月にどの学級も図書オリエンテーションを実施した。 ・全学年で学習単元に合わせた資料収集を行った。
【その他】 ① 貸し出し冊数を一人2冊までを可とする。 ② 夏休み・冬休みの図書の貸し出し冊数を、一人4冊までを可とする。	・長期休暇の貸し出し冊数を増やしたため、自然科学の本を借りる児童が増え、調べる学習コンクールへの応募が増加した。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

(1) 図書館の有効活用を全体で考えながら、年間を通して図書の貸し出しを行うことができた。 (2) 図書委員会児童が放送で呼びかけ、学校図書館利用の推進を図った。時期による違いはあるが、図書館に来る児童の数が増えるなど、効果が見られた。 (3) クラスの図書授業及び休み時間の利用が増えたため、本の貸し出しが大幅に増えた。 (4) 図書ボランティアによる読み聞かせを復活させ、1年生以外にも行えるように工夫できた。 (5) 蔵書数が多いため、3桁分類への移行にはまだ時間がかかる。 (6) 放課後子ども教室利用時間帯の図書授業の在り方について、検討が必要である。
--